



学校だより 3月号

横浜市立日下小学校 令和 4年 2月 28日

夢に向かって ともに歩み 未来を拓く 日下小

日下小学校 ホームページURL

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hishita>

校庭のクスノキ

金子 孝

三寒四温、春らしい日が少しずつ増えてきました。いよいよ今年度も残すところあとひと月です。子どもたちは、それぞれ学年のまとめを進めています。6年生は小学校生活をどのように締めくくるか一日一日を大切にすごしてほしいと願っています。

日下小学校の校庭には立派なクスノキがあります。春から夏にかけては、新しい葉が古い葉と交代します。そのため落ち葉が増えますが、そのあと美しい緑色の葉を茂らせてくれます。冬になっても、葉を茂らせてくれてとても元気な姿は生命力を感じさせてくれます。クスノキは飛鳥時代の頃、仏像を作る材料としても使われていたそうです。

私は、学校のクスノキが大好きです。ときどき眺めては楽しんでます。野鳥のさえずりが聞こえるときもあります。枝がたくさん分かれていて、その先の方がまるで生き物の頭のように見えるのでおもしろいです。そして風が吹くと、枝が揺れて、まるで木が笑っているようです。このクスノキが何年前から植えられていたのか分かりませんが、本校の郷土資料館の写真にも写っていることから、かなりの年月が経っていると思われます。

以前卒業された方が、学校を見に来た時にクスノキの話をして懐かしく昔のことを思い出させていました。雨の日も、風の日も、天気の良い日も子どもたちのことをずっと見守ってくれていたクスノキです。1年生が入学するときは、「おめでとう」と温かく迎えてくれます。6年生が卒業するときは、「中学校にいてもがんばってね。」応援しながら送り出してくれます。校庭で元気に遊んでいる子どもの姿を見ていると喜んでいるようです。子どもたちや教職員は移り変わっても、クスノキは毎年変わらず立ち続けています。そして大好きな日下っ子たちを見守っています。いつもありがとう。

「チャレンジする心」「人とつながる力」コーナー

感染症で活動が制約される中、なわとびの練習が盛んにおこなわれています。運動委員会がカードを作ってくれたので、それを活用してできる技を増やしています。子どもの技の習得はとても早く、お互いに切磋琢磨して伸ばし合っています。